

人工膝関節の手術は奈良県でも有数の件数を誇り、脊椎固定術にも高い実績。

医療法人 康仁会

西の京病院

MIS人工関節置換術

西の京病院の脊椎人工関節センターは、平成22年度は218件の人工膝関節手術、54件の人工股関節手術を実施しており、膝関節では奈良県1位、股関節では2位の実績をもつ。手術は皮膚や筋肉の切開を最小限にとどめるMIS法（極小侵襲手術）で行うため、術後の回復は早く、3週間以内で退院できる。



脊椎手術室:360°X線透視が可能
NASA基準のクラス100の清潔度

近鉄橿原線「西ノ京」駅に位置する西の京病院には、最新技術と設備を駆使する脊椎人工関節センターがある。

「患者に負担の少ない手術」を基本に、個々の症例に応じた術式を的確に選択。手術時の映像はリアルタイムで家族に公開されている。



先進医療レポート

グッドクター
GooDr.
選ばれる病院



副院長
整形外科・リハビリ科部長
植田 康夫

うえだ・やすお / 【経歴】昭和59年3月奈良県立医科大学卒業。大学関連公立病院整形外科医長歴任の後、平成11年4月西の京病院整形外科医長。【資格・専門医】医学博士、日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本リウマチ学会認定リウマチ専門医 他

「MISの皮膚切開は6〜8cmと、従来の術式の2分の1以下で済みます。術後の痛みも入院期間も格段に少なくなり、手術のハードルが下がりました。当院は6年前からMISを手がけており、質の高い技術を習得した専門医が最善の手術を実施しています」と植田康夫副院長は語る。

人工関節の耐用年数は骨の状態等によって異なるが、一般的に80%の人は15年もつと言われる。西の京病院では、他院で入れたものを含め人工関節の入れ替え手術も実施。

「実は私の母、義母ともに人工関節を入れています。手術後は日常生活の幅が増し、友人の輪も広がりました。老後を楽しみ過ぎすには、とても良い方法だと思えます」（植田副院長）。

脊椎外科では多様な疾患に対応

脊椎外科においては、腰部脊柱

間狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアを有する患者を数多く治療している。腰椎椎間板ヘルニアに対しては、MED（内視鏡下随核摘出術）を主に行い、良好な結果を出している。

腰部脊柱管狭窄症に対しては、椎間板の状態が比較的良く腰椎不安定症がない場合は、神経の除圧だけで済む椎弓形成術を行う。一方、脊柱が歪む側弯症や腰椎すべり症が加わった患者には、骨の中に金属を入れて固定する腰椎固定術で対応している。

「保存的治療を続けてきたが治らないということで来院する患者さんが増えており、昨年は約80件の腰椎固定術を行いました。また、当院は頸椎の手術についても、背中側から脊柱管を拡げる後方拡大術だけではなく、のど側から切り開く前方固定術も実施しています」。

頸椎の前方固定術が適用されるのは、頸椎手術患者の約2割。頸

椎の不安定性が強い症例には効果が大きいとされているが、この手術を行っていない施設も多い。

「当院の特徴は手術時間が短いことで、腰椎固定術は約90分で終了します。カーボン製ベッドの周りに360度方向から撮れる3D画像装置を備えているので、金属を入れるスピードが早く、かつ的確な手術を行うことができます」。手術時の映像はすべて公開されており、別室で待機する家族がリアルタイムで手術の様子を見ることができるとも大きな特徴だ。

Hospital Data

医療法人 康仁会 西の京病院

所在地	奈良市六条町102の1
電話	0742-35-1121
URL	http://www.nishinokyo.or.jp/
診療科目	内科、循環器科、呼吸器科、消化器科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、眼科、麻酔科（院長 登志）、リウマチ科、美容外科、血管外科、救急科